



# 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築（簡易版）2010年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-NCb\_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社オーナミ 関西事業部堺事	階数	地上1F
建設地	大阪府堺市西区築港新町一丁5-3番	構造	S造
用途地域	工業専用地域 臨港地区(工業港地区)	平均居住人員	0人
気候区分		年間使用時間	2,900時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年3月 0.0	評価の実施日	2013年6月1日
敷地面積	57,960 m <sup>2</sup>	作成者	高橋上田設計事務所
建築面積	4,099 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	4,094 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.6** ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.0

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 1.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.9

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	工業専用地域内に建つ倉庫という用途に則して求められる性能や基準の遵守に努め、敷地内外に良好な環境を生み出すよう配慮します。	<b>その他</b> 特になし
<b>Q1 室内環境</b>	倉庫という用途上求められる性能に対し、定められた基準等は遵守し、室内環境の向上に努めます。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 工業専用地域内に建つ建物として定められた基準等は遵守し、植栽面積の確保等によりまちなみへの配慮・敷地内の環境向上に努めます。
<b>LR1 エネルギー</b>	倉庫(居室・空調・換気・給湯なし)という用途上、1次エネルギー消費量の低減率は高くなります。	<b>LR3 敷地外環境</b> 工業専用地域内に建つ建物として、定められた基準等は遵守し、周辺環境への影響が少なくなるよう配慮します。
<b>Q2 サービス性能</b>	倉庫という用途上求められる性能に対し、維持管理・機器更新のしやすさに配慮します。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	リサイクル材の利用等が可能な部分については採用を行い、資源の保護に配慮します。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	株式会社オーナミ関西事業部堺事業所 新倉庫建設工事	BEE	BEEランク
	建設地	堺市西区築港新町一丁5-3番地	0.6	B-
	主用途/延床面積	工場 / 4,094.01 m <sup>2</sup>		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	3	
省エネ対策	3	
みどり・ヒートアイランド対策	2	
安全快適な暮らし	3	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO <sub>2</sub> 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		3.0	3
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	1.0	3
		住居・宿泊部分	0.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		0.0	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.0	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		5.0	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		3.0	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		2.2	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		2.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		2.5	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		1.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		4.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	